

平成 30 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

組織名	柴宮町内会	代 表	会長 はしもとかずえい 橋本和榮
地域（市町村）	県中（郡山市）	加入世帯数 （所属人数）	302 世帯（1,130 名）

（１）町内会の特徴

郡山市内のベッドタウンとして発展。昭和 40 年当時は 40 戸足らずの地域であったが、現在では 300 戸を超える大きな町内会のうちのひとつである。また、以前は地域の 8 割が農家であったため、当時の横のつながりの良さも色濃く残り、協力的な伝統を引き継いでいる。

（２）事業実施背景

町内会においても高齢化が進み、認知症となり徘徊するような事例も発生した。その際には、近所で見守りをして家族をサポートする結果となり、地域での連携の重要性を改めて知ることとなった。今後は地域で高齢者を孤立させないような機会を設けたいと考えたため。

（３）本年度事業実施内容と今後の方向性

高齢者を対象とした「茶話会（毎週木曜日に実施）」においては健康体操を実施し、好評を得た。また、地域のお祭りである 11 月上旬の「あさか野案山子祭り」では近くの学校の児童と一緒に案山子づくりをしながら、世代間交流を深めることができた。今後は年間を通して多世代の間の交流ができるよう進めていきたい。

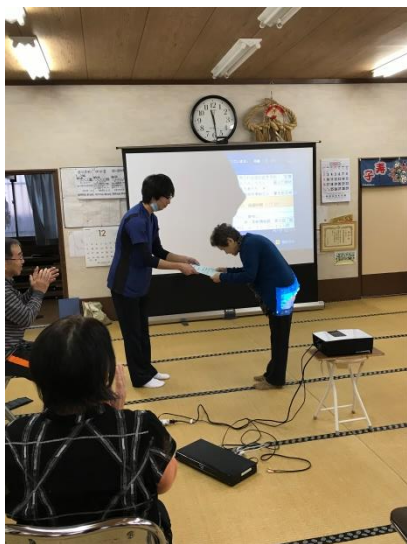
＜「柴宮案山子祭り」を中心に地域の交流の活性化へ＞

地域の大きな行事の一つに「柴宮案山子祭り」がある。平成 19 年から始まった祭りは、急速に増えた会員同士のつながり不足を解消するために始まったものである。

町内会役員が地域の小学校へ出向いて子供達に案山子づくりを伝え、それに伴って保護者たちも協力してくれることとなり、現在では地域内の復興住宅にいる方たちも巻き込んだ大きなイベントとなっている。

その一方で、町内会の高齢者を集めて週 1 回地域の集会所で健康体操及び茶話会を行って、高齢者を孤立させないような仕掛けづくりも行っている。今後は年間を通して、多世代の会員が交流できるよう進めていけるようにしていきたいとのことであった。

- ① 毎週木曜日に健康体操及び茶話会が行われている。取材日は市の理学療法士も参加し、継続参加者への表彰が行われていた。



- ② 「あさかの案山子祭り」の1コマ。田んぼと青空が背景になり、案山子の表情も心なしか微笑んでいるように見える。



- ③ 「あさか野案山子祭り」の子供達の審査の様子。実際に展示されている田んぼを見ながら、子供達も審査員の一人となって真剣に審査する。

